

令和 4 年度
社会福祉法人ひまわり
事業計画書

令和 4 年 4 月 1 日発行

経営理念

1. 地域になくてもならない存在になろう
2. お客様に喜ばれ、信頼される良質なサービスを提供しよう

運営方針

1. 介護サービス第一と考える
2. 社会・顧客・法人内関係者との約束を遵守する
3. サービス提供プロセスの継続的改善に取り組む
4. 常に顧客の声に耳を傾ける
5. 良質なサービスは職員の健康から

お客様に喜ばれ信頼される良質なサービスは職員一人一人の健康が礎と考える。

令和4年度事業計画を策定するにあたって

新年に入り、新型コロナウイルス「オミクロン株」感染の急拡大を踏まえ、国内全域で警戒と対策に追われる日々となった。施設は、依然として閉鎖的な環境での生活に留まり、利用者、職員、また双方の家族にとっても精神的負荷がかかっている状態である。

高齢者を優先して3回目の予防接種が実施されたが、今後の生活や家族・地域の交流を含め十分な警戒態勢を維持せざるを得ないと思われる。

この状況下で、令和4年度の事業計画を策定するにあたり、介護サービスの在り方、実施項目、組織体制、経営チーム、財務、キャッシュフロー予測について以下のように考察する。

1. 人材確保対策及び離職防止について

介護職員に留まらず、多様な人材確保が急務である、あらゆる媒体の活用や職域連携を活用し、人材確保に努める。

職員の処遇改善、福利厚生に向けた取り組みを継続することにより、定着促進を進める。また、外国人（技能実習生）雇用は、感染拡大により第2期実習生の入国延期が続いており、先の目途が立ちにくいこともあるため、国内在住の特定技能による外国人の採用を進める。

本年度新卒採用者は1名に留まるが、貴重な人材として丁寧に指導教育する。

2. サービスの質の向上について

従前とは大きく異なる環境下での利用者及び家族の満足度の低下には十分配慮してコミュニケーションを密にする必要がある。様々な工夫を凝らしケアを提供するとともに精神的フォローも重ねていく。

また、内部コミュニケーションを強化し、効率よくするために、ビジネスチャットを採用し、変化に対する柔軟な受け入れや、職員それぞれのタスク管理により自発的な行動の促進、ボトムアップの姿勢を目指していく。

職員教育では、外部研修がオンライン研修に移行しており、今後もハイブリッドスタイルが定着すると思われるが、本年度も計画通りに均質に受講できるよう取り組んでいく。

キャリアパスを基に資格取得を奨励し、専門職としての力量向上を支援する。

技能実習生教育も職員同等に実施し、日本語検定試験の上位合格を目指し指導する。

外部評価受審は感染症の落ち着きを確認した後に計画したい。

3. 組織体制、経営チームについて

経営・運営状況の定期的点検と把握のため、本年度も2ヶ月毎に理事会開催を計画する。人事は管理職の異動、各事業部門の異動をキャリアパス及び人事考課により実施する。今後、担当責任者会議に出席する職員の中から適任者を選抜し、外部コンサルを活用しながら、中・長期的に経営チームを育成していく。

4. 財務・キャッシュフロー予測について

収入・支出のバランスを読み、修繕箇所、導入すべきICT関連機器、補助金（処遇改善含む）申請等、プライオリティを明確に示す。

基本財産等減価償却積立の目標額と計画を明確にする。

5. 災害支援体制の取組について

昨今の気候変動による災害発生や、感染症拡大に伴う生活の変化には臨機応変に対応できる体制を整える必要がある、

内部で訓練する内容に加え、関係機関を含めた連携・協働の支援体制にも取り掛かり、積極的な訓練を計画していく。本年度は、訓練前の計画立案・関係機関との内容吟味を実施する。

感染症では、職員の感染時シミュレーションと基本的技術の会得を継続して実践する。

6. 制度改正への準備について

改正電子帳簿保存法、インボイス制度への改正へ完全対応できる準備を整えていく。同時にペーパーレス化を一層進めていく。

本年度は、一層の健康経営を推進し、利用者には安全と安心を、職員には安定と満足感を感じられる運営に努力し、健全な経営と組織体制を固めていく年にする。

令和4年度重点目標

1. 組織運営・経営体制の強化について

① 組織力の向上、経営チームの確立

- ・2ヶ月ごとに理事会を開催し、法人経営の基盤強化を継続する。(令和4年度継続)

主なスケジュール

3月	理事会(予算)、評議員会(予算)	理事会での業務執行報告
4月	第三者委員会(2021年度下半期)	
5月	監事監査、理事会(決算)	
6月	評議員会(決算)	
8月	理事会	
10月	理事会	
11月	第三者委員会	
12月	監事監査、理事会	
2月	理事会(補正予算) 評議員会(補正予算)	

- ・常勤理事の管理業務と経営会議・施設長会議の在り方

運営状況(人事・財務・活動)及び各役割による進捗状況の定期的点検と情報の共有、把握に努め、リスク管理能力を培い、対応策を検討し、実行に繋げる。

- ・経営チームの育成

現在の職員のキャリアアップのための仕組みを見直し、次世代を担う中堅職員や後継者を選抜し、マネジメントを担うための意識・知識を醸成するように、外部コンサルの活用を含む各種研修へ出席する等、中長期的に育成に取り組む。

② 財務及びキャッシュフロー予測から、安定した経営を目指す

- ・各事業の目標管理と月次分析

損益分岐点を算出し、経営状態の確認と、収支バランスを図る。

指標：あさがおホール(令和2年度決算より算出)

	介護老人 福祉施設	短期入所 生活介護	地域密着型 通所介護	特定施設 入居者生活 介護	小規模 多機能型 居宅介護
利益	28,572,285	263,040	7,093,615	9,528,026	5,946,721
限界利益	218,987,173	14,543,040	49,111,727	90,149,953	48,786,902
限界利益率	82.9%	81.8%	87.8%	85.1%	89.0%
損益分岐点売上高	229,762,805	17,461,398	47,854,109	94,790,758	48,147,370
損益分岐点比率	87.0%	98.2%	85.6%	89.4%	87.8%
年間延べ利用者数(人)	20,805	1,460	5,598	9,490	288
1日あたりの損益分岐点 利用者数(人)※	49.6	3.9	15.4	23.3	21.1

※小規模多機能型居宅介護のみ1月あたりの登録人数

指標：けやきホール（令和2年度決算より算出）

	介護老人 福祉施設 (従来型)	短期入所 生活介護 (従来型)	地域密着型 通所介護	介護老人 福祉施設 (ユニット型)	短期入所 生活介護 (ユニット型)
利益	20,132,078	2,943,140	9,222,808	9,864,803	2,552,555
限界利益	183,381,302	26,854,776	30,186,641	129,513,452	9,635,151
限界利益率(%)	84.6%	83.6%	83.8%	84.6%	90.8%
損益分岐点売上高	192,948,649	28,605,763	25,030,617	141,405,215	7,802,970
損益分岐点比率(%)	89.0%	89.0%	69.4%	92.4%	73.5%
年間延べ利用者数(人)	18,250	2,920	4,698	10,950	730
1日あたりの損益分岐点 利用者数(人)※	44.5	7.1	12.5	27.7	1.5

但し、介護度や職員の入退職により損益分岐点が変更することもある。

・計画的な施設・設備の維持保全

経過年数が進む法人内施設の建物・設備等に対して、各種助成金等を活用し、限られた財政事情と現状を鑑みながら、優先順位等を決定する。併せて建物、設備機器の定期保守点検（4月、10月）を実施、修理・修繕計画に反映させる。同時に導入すべき ICT 関連機器により環境改善等を行う。

また、将来的に必要な資金確保を具体化するため、基本財産等減価償却積立の計画（目標額）を明確にする。

事業		前期積立額	当期積立額 (目標額)	累計積立額
あさがお	介護老人福祉施設	6,500,000	8,000,000	81,100,000
	地域密着型通所介護	1,400,000	3,000,000	15,000,000
	特定入居者生活介護	3,300,000	4,000,000	35,380,000
	小規模多機能型居宅介護	700,000	4,000,000	32,500,000
	小計	11,900,000	19,000,000	163,980,000
けやき	介護老人福祉施設（従来型）	6,000,000	7,000,000	38,460,000
	介護老人福祉施設（ユニット型）	0	3,000,000	9,590,000
	小計	6,000,000	10,000,000	48,050,000
総計	17,900,000	29,000,000	212,030,000	

・制度改正への取り組みに対する準備

改正電子帳票保存法（令和4年1月1日施行※2年間猶予）

保存すべき電子的記録の分類と各種保存方法の確立

インボイス制度（令和5年10月1日導入）

適格請求書（インボイス）への準備

2. 人材確保とサービスの質の向上について

① 人材（外国人労働者含む）確保と職員の定着促進

・積極的な採用活動及び就業確保

外部（就職説明会、フェアや学校訪問）への参加だけでなく、キャリアス UC（オンライン求人票配信システム）や SNS を活用し、人材の確保に努める。

・技能実習生に対して継続的なケアとフォローの実践、新たな雇用創出

語学力の向上に努め、日本語検定試験の上位合格を目指し、指導する。また、国内在住の特定技能の外国人を採用し、人材の確保に努める。

・福利厚生の充実

食事環境、感染予防等、健康経営に繋がる支援を行う。

② 職員の力量向上と業務効率化

・ICT 化の推進による業務改善

これまで進めてきた ICT への取り組みを更に発展させるため、ビジネスチャットを採用し、事業別、職種別に円滑な内部コミュニケーションを充実させるだけでなく、各職員のタスク管理による自発的な行動を促進し、業務全体を推し進めていく。また、継続して補助金も活用しながら新たな ICT 機器や既存の ICT 機器を拡張する等、積極的に取り入れ、サービスに繋げる。

・外部評価受審に向けた準備

けやきホール（令和 4 年度）、あさがおホール（令和 5 年度）の受審に向けて、準備を進めるために、内部監査を活用し、サービスの点検を実施する。

・コロナ禍における外部研修（Web 研修含む）への取組

職員の専門的知識や技術の向上のため、キャリアパスに基づき、昨年と同様に認知症基礎研修（eラーニング）や外部研修へ参加する。また、幹部職員には、STS ラーニングによる「プレゼン研修」を実施し、「伝えるスキル」を鍛え、事業の業務遂行の実現を図るための基礎を作る。

3. リスク（感染予防、自然災害等）への対応力の強化

① 新型コロナ等の感染対策

・変異株に伴う BCP 修正と訓練（シミュレーション）の実施

様々な特性に対し、日々変化していく対応策をタイムリーに反映させるだけでなく、基本的な感染対策を徹底する。また、労務関連等の情報提供も随時行い、利用者だけでなく、職員も安全・安心を与える職場環境を目指す。

② 自然災害への対策

・BCP 見直しと大規模訓練（シミュレーション）への準備

多発・巨大化している地震、台風等による自然災害に備え、令和 5 年に実施する大規模訓練に向けて、関係団体、地域住民参加を踏まえた連携の推進し、準備を進めると同時に、設備備品の整備を行う。

事業一覧

社会福祉事業

No.	事業・事業所名	定員	所在地	事業所番号
1	介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム あさがおホール	57	朝来市	2874900539
2	短期入所生活介護（予防）・特別養護老人ホーム あさがおホール	4	朝来市	2874900505
3	地域密着型通所介護（第1号通所事業）・あさがおホールデイサービスセンター	18	朝来市	2874900497
4	軽費老人ホーム/特定施設入居者生活介護（予防）・ケアハウス朝来	26	朝来市	2874900356
5	小規模多機能型居宅介護（予防）・ステーション RONDO	24	和田山町	2894900014
6	介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム けやきホール	50	但東町	2874600089
7	介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム けやきホール（ユニット型）	30	但東町	2874401553
8	短期入所生活介護（予防）・特別養護老人ホームけやきホール	8	但東町	2874600097
9	短期入所生活介護（予防）・特別養護老人ホームけやきホール（ユニット型）	2	但東町	2874401330
10	地域密着型通所介護（予防給付基準）・けやきホールデイサービスセンター	18	但東町	2874401389

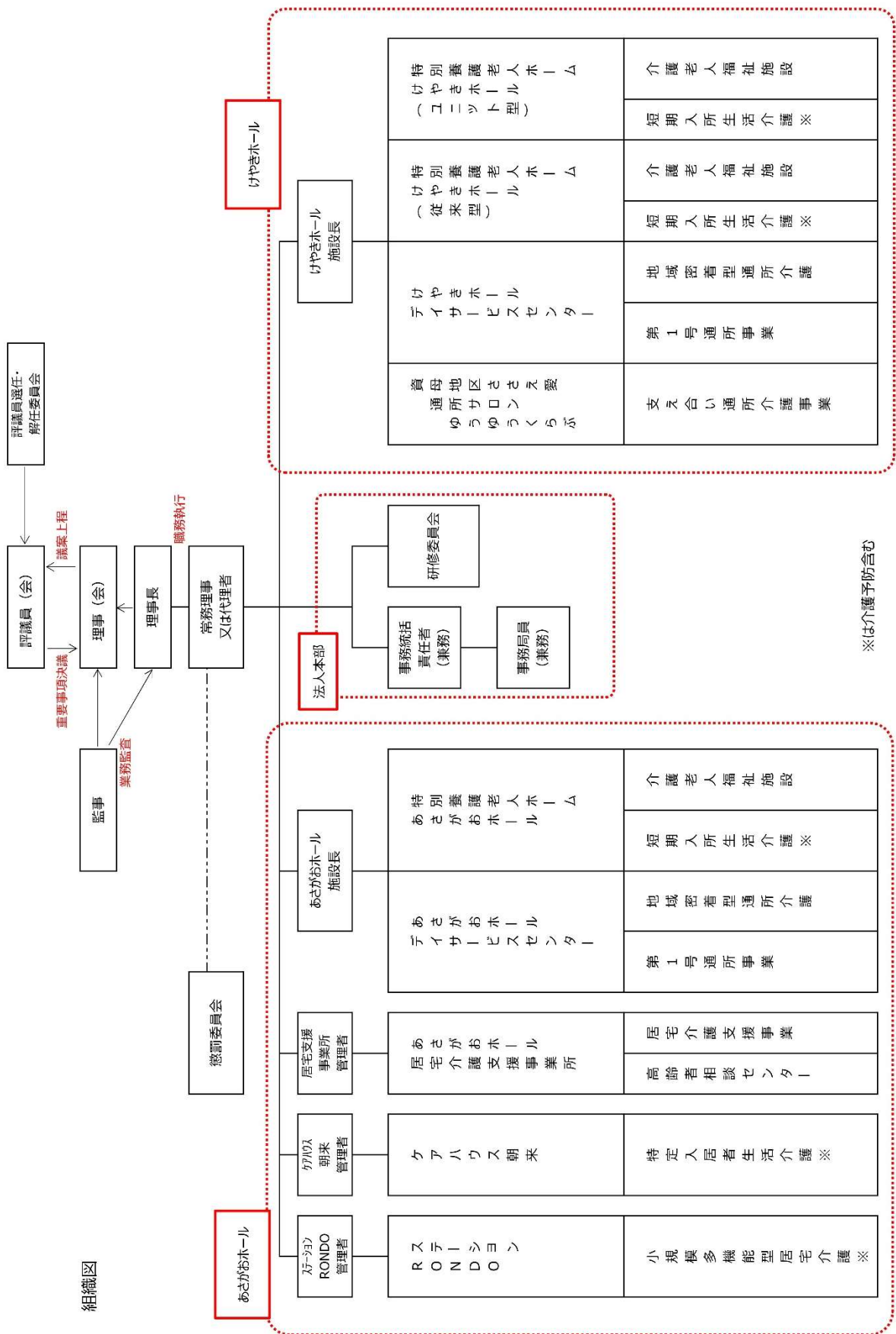
公益事業

No.	事業・事業所名	定員	所在地	事業所番号
1	居宅介護支援・あさがおホール居宅介護支援事業所		朝来市	2874900513
2	支え合い通所介護事業・資母地区ささえ愛通所サロン ゆうゆうくらぶ	20	但東町	

委託事業・その他の事業

No.	事業・事業所名	定員	所在地	事業所番号
1	緊急ショート入所（措置）	2	朝来市	業務委託
2	朝来高齢者相談センター		朝来市	業務委託
3	朝来市地域支援事業・健康教室		朝来市	業務委託
4	地域開放（通所介護）		朝来市	
5	ささえあい交流会（高橋地区・資母地区）		但東町	

組織図



※は介護予防含む

令和4年度 社会福祉法人ひまわり 職務分掌構成表

区分1	区分2	人事	管理	財産	管理	活動
		資格	厚生 (健康管理・福利厚生)	出納・徴収・租税	法人調書・沿革	
		賃金 (社会保険・給与・税務等)	人材育成 (外部研修・内部研修)	予算・決算・経理会計諸帳簿	広報 (ホームページ等)	
		要員管理	要員管理	基本財産	介護保険制度 (加算・減算・制度変更・ソフト等)	
					各行事 (主に夏祭り・クリスマス)	
					家族会	
					委員会2 (身体拘束適正化・褥瘡予防・感染症対策)	
					委員会1 (防災・設備)	
					内部会議4 (検証G会議)	
					内部会議3 (合同担当責任者会議・担当責任者会議)	
					内部会議2 (施設長会議)	
					内部会議1 (経営会議)	
					中間会議2 (給食委員会・浄業社会議)	
					中間会議1 (施設運営協議会・運営推進会議等)	
					外部会議 (朝来市及び豊岡市の高齢者施設合同連絡会等)	
					内部監査	
					外部監査 (監査子エックリスト・介護サービス情報の公表等)	
					第三者委員会	
					理事会・評議員会・監事監査	
					事業報告	
					事業計画 (中短期・単年度・骨子等)	
波多野						
三谷						
佐野						
池本						
小林						

注) ◎…メイン ○…サブを表し、◎がない区分は全員に該当する。

各事業の職員配置（令和4年3月1日現在）

区分	あさがおホール						
	実数※1	特養	通所	居宅※2	小規模	ケア	
職員数<人>	92	58 (12)	16 (11)	4 (1)	12	14	
(内他事業兼務)	男性	22	11 (5)	6 (4)	1 (1)	2	7
	女性	70	47 (7)	10 (7)	3	10	7
職種<人> (内他事業兼務)	管理者	4	1 (1)	1 (1)	1	1 (1)	1
	相談員	7	2	2 (2)	—	—	3
	CM	6	1 (1)	—	3	2 (2)	1 (1)
	NS	7	4 (1)	1 (1)	0	2	1
	CW	69	45 (8)	9 (5)	—	9 (1)	8 (1)
	栄養士	2	2 (1)	1 (1)	—	—	—
	事務	5	3 (1)	—	1 (1)	—	2 (1)
	その他	4	2	2 (1)	—	—	—
職員平均年齢<歳>	51.83	54.0	53.6	45.0	53.3	50.1	
	男性	49.95	50.7	55.8	—	57.0	42.1
	女性	52.41	54.6	52.0	45.0	52.6	58.0
入居者・利用者 定員<人>	—	57 (短期4)	18	—	24 通所15 宿泊5	26	
NS及びCWに対する利用者 者の人数の割合※3	—	2.30	2.12	—	—	2.72	

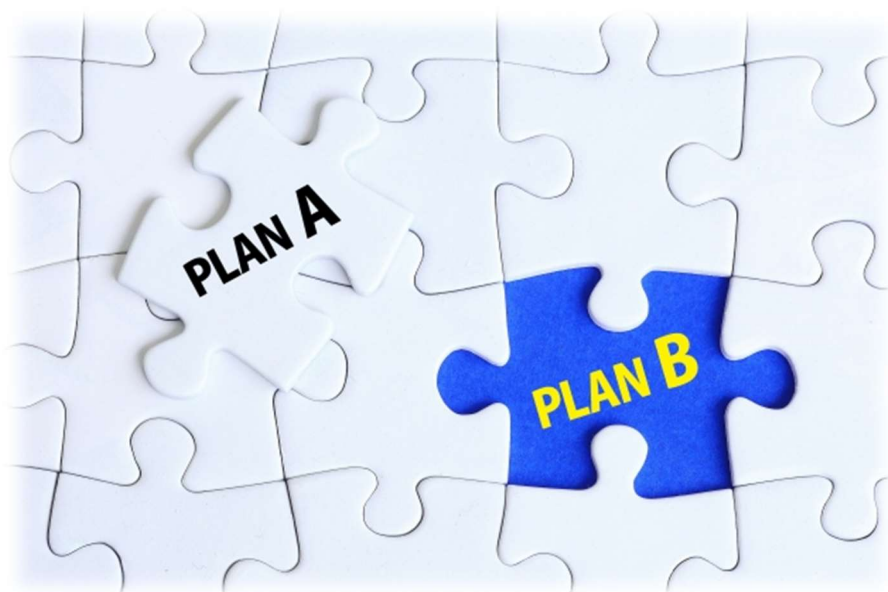
区分	けやきホール				
	実数※1	特養(従)	特養(工)	通所	
職員数<人>	69	44 (8)	24 (5)	11 (7)	
(内他事業兼務)	男性	24	15 (3)	11 (3)	4 (3)
	女性	43	29 (5)	13 (2)	7 (4)
職種<人> (内他事業兼務)	管理者	1	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	相談員	3	2 (2)	2 (2)	2 (1)
	CM	1	1 (1)	1 (1)	-
	NS	5	4 (2)	1	2 (2)
	CW		30 (3)	19 (1)	5 (2)
	栄養士	2	2 (1)	1 (1)	1 (1)
	事務	3	3	-	-
職員平均年齢<歳>	49.2	51.0	46.2	55.4	
	男性	51.6	47.8	49.8	61.5
	女性	50.0	51.0	47.0	51.3
入居者・利用者 定員<人>	—	50 (短期8)	30 (短期2)	18	
NS及びCWに対する利用者 者の人数の割合※3	—	2.35	1.72	5.08	

名称 CM・・・介護支援専門員 NS・・・看護職員 CW・・・介護職員

※1・・・実数と各事業の合計数は他事業兼務により違いあり ※2・・・相談センター含む ※3・・・人数は常勤換算数により算出

委員会一覧

No.	名称	頻度	内容
1	防災設備委員会	1/月	従来の内容に加え、BCPへの追加等
2	入居判定委員会	1/月	次期入居者選定
3	事故防止委員会	1/月	担責から検証Gで包括
4	行事委員会	随時	行事について
5	給食委員会	1/月	給食全般について
6	処遇委員会	1/月	各部門会議に包括して、各処遇の進捗状況
7	褥瘡予防対策委員会	4/年	褥瘡予防について (4月、7月、10月、1月)
8	感染症対策委員会	4/年	感染症予防について (5月、8月、11月、2月)
9	身体拘束適正化・高齢者虐待防止委員会	4/年	身体拘束、虐待防止について (6月、9月、12月、3月)
10	広報委員会	4/年	HP、SNSのスケジュールや改善等を検討 (6月、9月、12月、3月)
11	個人情報管理委員会	2/年	検証Gで包括(6月、11月)
12	健康経営推進委員会	2/年	従業員の健康推進(理事、事務、NS) (9月、2月)



令和4年度 年間予定表

4月

1	金	辞令交付式 (法) 音楽療法 (あデ)
2	土	
3	日	
4	月	地域散髪屋 (あ) 地域散髪屋 (け)
5	火	
6	水	J&C (あ・ケ)
7	木	
8	金	会議の日 (け)
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	音楽療法 (あ) 音楽療法 (けデ)
13	水	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
14	木	
15	金	但馬POPP施設長会 (他) 音楽療法 (あデ)
16	土	
17	日	
18	月	音楽療法 (け) 給食委員会 (共)
19	火	
20	水	事例検討会 (居)
21	木	第三者委員会 (法) J&C (け)
22	金	会議の日 (け)
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	音楽療法 (ケ)
27	水	
28	木	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
29	金	
30	土	

随時	
----	--

5月

1	日	
2	月	地域散髪屋 (あ) 地域散髪屋 (け)
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	音楽療法 (あデ)
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	音楽療法 (けデ) 音楽療法 (G)
11	水	会議の日 (あ) J&C(あ・ケ) 音楽療法 (R)
12	木	
13	金	会議の日 (け)
14	土	監事監査 (法)
15	日	大掃除・家族会 (あ)
16	月	音楽療法 (け) 給食委員会 (共)
17	火	初期消火訓練 (あ)
18	水	
19	木	介護者の交流会 (居) 推進会議 (R) J&C (け)
20	金	音楽療法 (あデ) 初期消火訓練 (け)
21	土	大掃除・家族会 (け)
22	日	
23	月	
24	火	音楽療法 (あ) 音楽療法 (ケ)
25	水	
26	木	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
27	金	会議の日 (け)
28	土	理事会 (法)
29	日	
30	月	
31	火	

随時	
----	--

6月

1	水	J&C (あ・ケ)
2	木	
3	金	音楽療法 (あデ)
4	土	
5	日	
6	月	地域散髪屋 (あ) 地域散髪屋 (け)
7	火	
8	水	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
9	木	
10	金	会議の日 (け) 歯科検診 (あ)
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	音楽療法 (ケ) 音楽療法 (けデ)
15	水	事例検討会 (居)
16	木	J&C (け)
17	金	音楽療法 (あデ)
18	土	定例評議員会 (法)
19	日	
20	月	音楽療法 (け) 給食委員会 (共)
21	火	
22	水	
23	木	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
24	金	会議の日 (け)
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	音楽療法 (G)
29	水	
30	木	

随時	
----	--

<凡例> 法人…(法) あさがおホール…(あ) けやきホール…(け) あさがおホール・けやきホール共通…(共) あさがお GH…(G)
あさがおデイ…(あデ) けやきデイ…(けデ) ケアハウス朝来…(ケ) ステーション RONDO…(R) あさがお居宅…(居) 外部関連など…(他)

7月		
1	金	音楽療法 (あデ)
2	土	
3	日	
4	月	地域散髪屋 (あ) 地域散髪屋 (け)
5	火	
6	水	J&C (あ・ケ)
7	木	
8	金	会議の日 (け)
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	音楽療法 (けデ) 音楽療法 (あ)
13	水	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
14	木	推進会議(R) J&C (け)
15	金	音楽療法 (あデ)
16	土	夏祭り (け)
17	日	
18	月	音楽療法 (け)
19	火	給食委員会 (共)
20	水	
21	木	会議の日(あ) 音楽療法(R) J&C(け)介護者の交流会(居)
22	金	会議の日 (け)
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	音楽療法 (ケ)
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

8月		
1	月	地域散髪屋 (あ) 地域散髪屋 (け)
2	火	
3	水	J&C (あ・ケ)
4	木	
5	金	音楽療法 (あデ)
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	夜間総合訓練 (あ) 音楽療法(けデ)音楽療法(G)
10	水	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
11	木	
12	金	会議の日 (け)
13	土	
14	日	
15	月	給食委員会 (共)
16	火	あさご夏祭り (あ)
17	水	事例検討会 (居)
18	木	夜間総合訓練 (け) J&C (け)
19	金	音楽療法 (あデ)
20	土	
21	日	
22	月	音楽療法 (け)
23	火	音楽療法 (あ)
24	水	
25	木	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
26	金	会議の日 (け)
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

9月		
1	木	
2	金	音楽療法 (あデ)
3	土	
4	日	
5	月	地域散髪屋 (あ) 地域散髪 屋 (け) 員健康診断 (け)
6	火	
7	水	J&C (あ・ケ)
8	木	
9	金	会議の日 (け) 職員健康診断 (あ)
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	音楽療法 (ケ) 音楽療法 (けデ)
14	水	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
15	木	介護者の交流会 (居) 推進会議 (R) J&C (け)
16	金	音楽療法 (あデ)
17	土	
18	日	偲ぶ会 (け)
19	月	偲ぶ会 (あ) 音楽療法 (け)
20	火	給食委員会 (共)
21	水	
22	木	会議の日 (あ) 音楽療法 (R)
23	金	会議の日 (け)
24	土	施設運営協議会・通所運営推進委員会 (あ)施設運営協議会・営推進会議(け)
25	日	
26	月	
27	火	音楽療法 (G)
28	水	
29	木	
30	金	
31		

随時	
----	--

随時	理事会
----	-----

随時	
----	--

<凡例> 法人…(法) あさがおホール…(あ) けやきホール…(け) あさがおホール・けやきホール共通…(共) あさがお GH…(G)
あさがおデイ…(あデ) けやきデイ…(けデ) ケアハウス朝来…(ケ) ステーション RONDO…(R) あさがお居宅…(居) 外部関連など…(他)

10月	
1	土
2	日
3	月 地域散髪屋(あ) 地域散髪屋・入居者健康診断(け)
4	火
5	水 J&C(あ・ケ) 入居者健康診断(あ・ケ)
6	木
7	金 音楽療法(あデ)
8	土
9	日
10	月
11	火 音楽療法(あ) 音楽療法(けデ)
12	水 音楽療法(R) 会議の日(あ)
13	木
14	金 昼間総合訓練(け) 会議の日(け)
15	土
16	日
17	月 音楽療法(け) 給食委員会(共)
18	火 昼間総合訓練(あ)
19	水 合同責任者会議 事例検討会(居)
20	木 J&C(け)
21	金 音楽療法(あデ) 歯科検診(あ)
22	土
23	日
24	月
25	火 音楽療法(ケ)
26	水
27	木 音楽療法(R) 会議の日(あ)
28	金 会議の日(け)
29	土
30	日
31	月

11月	
1	火
2	水 J&C(あ・ケ)
3	木
4	金 音楽療法(あデ)
5	土
6	日
7	月 地域散髪屋(あ) 地域散髪屋(け)
8	火 音楽療法(けデ) 音楽療法(G)
9	水 音楽療法(R) 会議の日(あ)
10	木
11	金 日帰り旅行(共) 会議の日(け)
12	土
13	日
14	月
15	火
16	水
17	木 第三者委員会(法) 介護者の交流会(居) J&C(け)
18	金 音楽療法(あデ)
19	土
20	日 大掃除・家族会(あ)
21	月 音楽療法(け) 給食委員会(共)
22	火 音楽療法(あ)
23	水
24	木 音楽療法(R) 会議の日(あ)
25	金 会議の日(け)
26	土 大掃除・家族会(け) ホランティア感謝の集い(他)
27	日
28	月
29	火
30	水

12月	
1	木
2	金 音楽療法(あデ)
3	土
4	日
5	月 地域散髪屋(あ) 地域散髪屋(け)
6	火
7	水 会議の日(あ) J&C(あ・ケ) 音楽療法(R)
8	木
9	金 会議の日(け)
10	土
11	日
12	月
13	火 音楽療法(ケ) 音楽療法(けデ)
14	水
15	木 J&C(け)
16	金 音楽療法(あデ)
17	土 クリスマス望年会(あ)
18	日
19	月 音楽療法(け) 給食委員会(共)
20	火
21	水 事例検討会(居)
22	木 音楽療法(R) 会議の日(あ)
23	金 会議の日(け)
24	土 クリスマス望年会(け)
25	日
26	月
27	火 音楽療法(G)
28	水
29	木
30	金
31	土

随時	理事会
----	-----

随時	インフルエンザ予防接種
----	-------------

随時	理事会
----	-----

<凡例> 法人・・・(法) あさがおホール・・・(あ) けやきホール・・・(け) あさがおホール・けやきホール共通・・・(共) あさがお GH・・・(G)
あさがおデイ・・・(あデ) けやきデイ・・・(けデ) ケアハウス朝来・・・(ケ) ステーション RONDO・・・(R) あさがお居宅・・・(居) 外部関連など・・・(他)

1月		
1	日	お正月 (共)
2	月	地域散髪屋 (け)
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	音楽療法 (あデ)
7	土	
8	日	
9	月	地域散髪屋 (あ)
10	火	音楽療法 (あ) 音楽療法 (けデ)
11	水	音楽療法 (R) J&C (あ・ケ) 会議の日 (あ)
12	木	
13	金	会議の日 (け)
14	土	
15	日	
16	月	音楽療法 (け) 給食委員会 (共)
17	火	図上訓練 (あ) 図上訓練 (け)
18	水	
19	木	介護者の交流会 (居) J&C (け)
20	金	音楽療法 (あデ)
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	音楽療法 (ケ)
25	水	
26	木	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
27	金	会議の日 (け)
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

2月		
1	水	J&C (あ・ケ)
2	木	
3	金	節分 (あ・け) 音楽療法 (あデ)
4	土	
5	日	
6	月	地域散髪屋 (あ) 地域散髪屋 (け)
7	火	
8	水	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
9	木	
10	金	会議の日 (け)
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	音楽療法 (けデ) 音楽療法 (G)
15	水	合同責任者会議
16	木	J&C (け)
17	金	音楽療法 (あデ) 事例検討会 (居)
18	土	
19	日	
20	月	音楽療法 (け) 給食委員会 (共)
21	火	
22	水	会議の日 (あ)
23	木	音楽療法 (R)
24	金	会議の日 (け)
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	音楽療法 (あ)
29	水	
30	木	
31	金	

3月		
1	水	J&C (あ・ケ)
2	木	
3	金	音楽療法 (あデ) 5施設職員研修会 (他)
4	土	
5	日	
6	月	地域散髪屋 (あ) 地域散髪屋 (け)
7	火	
8	水	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
9	木	
10	金	会議の日 (け)
11	土	理事会 (法)
12	日	
13	月	
14	火	音楽療法 (ケ) 音楽療法 (けデ)
15	水	
16	木	介護者の交流会 (居) J&C (け)
17	金	音楽療法 (あデ)
18	土	
19	日	
20	月	音楽療法 (け) 給食委員会 (共)
21	火	施設運営協議会・通所運営 推進委員会 (あ)
22	水	
23	木	音楽療法 (R) 会議の日 (あ)
24	金	会議の日 (け)
25	土	施設運営協議会・通所運営 推進会議(け) 評議員会(法)
26	日	
27	月	
28	火	音楽療法 (G)
29	水	
30	木	
31	金	

随時	
----	--

随時	理事会
----	-----

随時	
----	--

教育・研修計画

外部研修に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン（Web）研修が中心になり、今後もハイブリッドスタイルが定着すると思われるが、積極的に学ぶ姿勢の機会を計画通り、且つ均質に受講できるよう取り組んでいく。また、キャリアパスを基に資格取得を奨励し、専門職としての力量向上を支援する。

・主な外部研修一覧

等級	職名	主な研修
経営職	理事長	全国老人福祉施設研究会議 全国老人福祉法人経営者大会 社会福祉法人理事長研修 等々
		兵庫県社会福祉法人経営者協議会 社会福祉法人経営セミナー 法人経営トップセミナー 等々
	施設長・管理者	施設長研修会 但馬ブロック施設長研修会 デイ部会管理者研修会 軽費・ケアハウス部会施設長研修会 等々
—	監事	社会福祉法人監事研修会
—	評議員	社会福祉法人評議員研修会
総合職	生活相談員	認知症介護実践研修
	介護職員	リーダー育成研修会 ユニットリーダー研修 等々
総合職 ・専門職	栄養士	但馬ブロック栄養士・調理員業務職員研修会 給食施設協議会研修会 兵庫県給食施設協議会総会並びに研修会 給食施設協議会相互支援実地訓練 等々
専門職	看護師	但馬ブロック看護職員研修会 介護技術普及実践研修 等々
	介護支援専門員	自立支援型地域ケア会議研修会 但馬ブロックケアプラン研修会 等々
一般職	介護職員 事務員	地域ケア研究会 但馬ブロックデイサービス職員研修会 但馬ブロック身体拘束廃止研修会 但馬ブロック直接処遇職員研修会 但馬ブロック事務職員研修会 病院・社会福祉施設等防火研修会 等々
	新人職員	新入社員激励会・研修会 兵庫県福祉・介護職員合同入職式
	担当者	算定基礎届事務説明会 公正採用選考人権啓発推進員研修会 介護保険サービス事業者等に対する集団指導 会計実務担当者研修 介護職種の技能実習指導員講習 等々
	該当者	ケアマネージャー試験・介護福祉士国家試験（筆記）（初回受験） 介護支援専門員更新研修、介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業「不特定多数の者対象」 等々

内部研修に関しては、全職員の研修の機会としての施設内研修は、引き続きレポート研修も同時に実施する。また、昨年に続き、資格未取得の職員を中心に e ラーニングを活用した認知症介護基礎研修や、職場でのハラスメント対策の強化が法的に義務されたこともあり、ハラスメント対策の研修を実施する。（施設内研修一覧参照）

なお、外部コンサルタントによる研修は、管理職及び幹部職員を対象に、「伝えるスキル」を鍛え、事業の業務遂行の実現を図るための基礎を作るための「プレゼン研修」を実施する。

・施設内研修一覧

月	研修内容	担当者		
		あさがお	けやき	外部
4月	接遇	新田事	藤木事	
5月	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止 初期消火訓練（特養・ケアハウス・RONDO）	中島栄養士 防災委員	栄養士 防災委員	
6月	身体的拘束等の排除 事故発生の防止 プレゼン研修	山口 CW 水田 LCW -	森垣 LCW 衣川 LCW -	STS ラーニング
7月	褥瘡対策 看取り プレゼン研修	椿野 NS 太田垣 NS -	石家 N S 武田 N S -	STS ラーニング
8月	夜間総合訓練 認知症及び認知症ケア	防災委員 中山 LCW	防災委員 加藤主	
9月	苦情・相談対応 ハラスメント対策	前田 CM -	川中相 -	外部
10月	昼間総合訓練 接遇（電話）	防災委員 岡田事	防災委員 藤木事	
11月	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止	伊藤副 NS	今井 N S	
12月	身体的拘束・虐待防止の排除	谷口 CW	松本 LCW 加藤主	
1月	図上訓練 利用者のプライバシー保護の取り組み	防災委員 浅田相	防災委員 九谷 L	
2月	認知症及び認知症ケア	北林相	長島 LCW	
3月	倫理及び法令遵守	藤本相	前田相	

定期開催：伝達研修（椿野裕・各介護職員）

※ CW・・・ケア介護職員 LCW・・・リーダー介護職員 NS・・・看護職員

特別養護老人ホームあさがおホール 特別養護老人ホームけやきホール 事業計画

あさがおホール	介護老人福祉施設（従来型）	定員 57名
	短期入所生活介護	定員 4名
けやきホール	介護老人福祉施設（従来型）	定員 50名
	短期入所生活介護	定員 8名
	介護老人福祉施設（ユニット型）	定員 30名
	短期入所生活介護	定員 2名

生活相談員・介護支援専門員部門

1. 効率的なベッドコントロールによる、安定した運営管理。

- (1) 年間稼働率
 - あ) 長期 99%以上 短期 100%以上
 - け) 長期 99%以上 短期 99%以上
- (2) 長期平均介護度
 - あ) 4.2 以上を継続する
 - け) 4.2 以上を継続する
- (3) 退居から入居までの空床日数を減らす。（7日以内）
- (4) 短期：新規利用者の獲得、利用日数の見直しを行い、稼働率のアップに努める。

2. 入居者・家族とのさらなる信頼関係の構築とサービスの質の向上

- (1) 継続的なアセスメントを実施し、入居者や家族の想いを生活に組み入れたサービスを提供する。
- (2) WEB やガラス越しの面会等を活用し、家族と入居者、職員とのコミュニケーションを深める。
- (3) 看取りケアでは、入居者と家族との関係を重視し、主治医、看護職員、栄養士、介護職員等との連携を強化し、調整役としての役割を果たし、その人らしい最期を迎えられるように努める。

3. ICT 等の評価を行い、効果を高めていく。

- (1) 運用している ICT 等を介護職員や、看護職員連携し、評価を行い、業務の効率化を進める。また、担当責任者会議で進捗状況の報告を行う。導入前と導入後の評価（メリット・デメリット、または金額等）を行う。
- (2) ビジネスチャットを活用し、情報共有、タスク管理の効率を高める。

4. 部門責任者の育成、職員の育成

- (1) 部門責任者と面談を行い、各職員の課題、目標達成度の確認・把握を行う。（目標面接等）
- (2) (1) を行ったうえで、部門責任者を通して課題・目標に合わせて助言、指導を行う。
- (3) 検証 G と連携し、事故・苦情発生時の適切な「初動」が身につくよう、指導していく。

5. 技能実習生の指導内容等の見直し・修正

- (1) 日本語学習に対する支援を継続的に行う
- (2) 実習計画に対するの評価と両施設間で毎月情報交換を行う。
- (3) 計画的にディスカッションを行い、課題の整理とフォローを行う。
- (4) 2期生の受入準備を行う。
- (5) 特定技能採用者の指導

6. 感染対応、災害対応への対応力強化

- (1) 介護部門と連携し、感染対応のシミュレーションを計画・実施・評価する。
- (2) 災害時の福祉避難所として対応できる体制を強化する。

介護部門

1. 介護サービスの質の向上～コロナ禍であっても、介護サービスの質を落とさず、その充実と処遇改善実施～

- (1) 処遇委員会と連携して利用者への処遇改善を実施する為、処遇各担当で目標を立て、上半期・下半期で評価を行い、処遇改善への意識を高める。
- (2) コロナ禍だからこそ、安全面を配慮し、利用者への楽しみの機会を月行事も含め提供する。
- (3) 家族とのよりよいコミュニケーションを確立する。
- (4) 身体拘束適正化委員会と連携し、時間制限等一時的な解除も実施し、身体拘束ゼロを目指す。
- (5) 褥瘡予防委員会と連携し、適切な福祉用具の選定やケアの見直しを行い、新たな褥瘡・の発生を防ぐと共に、同一部位への繰り返しの発生を防ぐ。

2. 職員の力量向上と業務効率化

- (1) 各職員の目標達成のために、ビジネスチャットを活用し、自己のタスク管理を行う。
- (2) 継続したコスト削減と日課の見直し、改善を行う。
- (3) これまで取り組んできた ICT 機器を更に有効活用できるように取り組む。
- (4) 技能実習生の日本語検定試験上位合格のフォローアップの為、日々の業務の中でインカム等を活用して日本語を積極的に発信する機会を作る。

3. 感染対応・災害対応への対応力強化

- (1) 新型コロナ感染症に対して、定期的な訓練と見直しを実施する。
- (2) 地震、停電等の災害時の備えとして、居室や共用部の環境を確認し、防災に努める。

＜年間活動計画＞

	あさがおホール	けやきホール
4月	お花見（ケアハウス）	お花見
5月	大掃除・家族会 母の日プレゼント	感謝の集い 母の日プレゼント
6月	父の日プレゼント	父の日プレゼント 大掃除・家族会
7月	七夕	七夕 夏祭り
8月	終戦記念日（黙祷） あさご夏祭り	終戦記念日（黙祷）
9月	偲ぶ会 敬老の日	偲ぶ会 敬老の日 運動会観戦
10月	秋祭り	秋祭り
11月	泊旅行 文化展外出 紅葉外出 家族会・大掃除	泊旅行 文化展外出 家族会・大掃除
12月	クリスマス望年会	クリスマス望年会
1月	お正月 初詣 阪神・淡路大震災（黙祷）	お正月 初詣 阪神・淡路大震災（黙祷）
2月	節分豆まき	節分豆まき
3月	東北大震災（黙祷） ごくろうさん会	東北大震災（黙祷） ごくろうさん会
随時	華道クラブ（第3木曜日） 書道クラブ（第2・4水曜日） 音楽療法（特養・GH隔月） ※訪問自粛期間中は、請求時に写真を送付	粘土クラブ（第1金曜日） 茶道クラブ（第2・4木曜日） 手話サークル（毎月1回不定期） 音楽療法（第3月曜日） ※訪問自粛期間中は、請求時に写真を送付



看護部門

1. 新型コロナウイルス等の感染症に対して確実な予防対応により入居者・職員の安全を保持

- (1) 感染症の発生動向や予防対策などの最新の情報を得て確実な予防対応を実施すると共に、感染症の発生に備え、感染対应用物品を管理し、初動対応が確実に実施できるよう準備する。
 - ①ガウンテクニックの実技チェックを継続して行う。
 - ②日常ケアやゾーニング、感染性廃棄物の取り扱い方法などについてシミュレーションで確認し、発生時の対応方法を確立させる。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の PCR 検査とワクチン接種の準備と実施。
- (3) 職員が感染予防の正しい知識と技術を習得し、日常生活や入居者ケアに活かせる内部研修を実施する。

2. 医療専門職としてのエビデンスに基づくケアと安全・安楽な生活の提供

- (1) 入居者の身体状況についての情報収集と分析を丁寧に行い、先を予測しながら早期に対応することで、不要な重症化を防ぐ。
 - ①オンコールシステムや眠りスキャンを有効活用し、他職種間の情報共有や入居者ケアに役立てる
- (2) 根拠を明確にしてケアの方向性と対応の仕方を具体的に発信する。
- (3) 家族訪問が少ない中、入居者の体調変化時等は状態説明を丁寧に行い、意向に沿って対応する。
- (4) 業務改善に取り組み、マニュアル・手順書の整備を継続して実施する。
- (5) 部門内・姉妹ホール（ロンド含む）間で、ビジネスチャットを用いて間を空けず相談・連絡・報告を行い、確実に情報を共有する。
- (6) 手順を守り、丁寧な業務と確認を行うことで不適合をなくす。

3. ご本人らしい最期を迎えていただくための看取りケアの充実

- (1) プレターミナルの徴候を部門内・他職種間で情報共有し、主治医と連携して、計画的に看取りケアへすすめる。
- (2) 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に沿い、入居者・家族の意思を尊重し、入居者にとって最善の方針をとれるよう情報提供を行うと共に、安全・安楽・丁寧なケアを提供する。
- (3) デスカンファレンスでの内容を共有し、次のケアへ活かすための対策を立てて実行する。
- (4) 職員がターミナルケアの正しい知識と技術を習得し、入居者ケアに活かせる内部研修を実施する。

4. 褥瘡予防の取り組みの継続・強化

- (1) 適時の褥瘡リスクアセスメントと褥瘡予防ケアを実施する。
- (2) ポジショニングの確認および指導を行い、使用するマットやクッションなどの見直しを行う。
- (3) 職員が褥瘡予防の正しい知識と技術を習得し、入居者ケアに活かせる内部研修を実施する。

5. 職員の健康管理・健康増進に対する取り組みの支援

- (1) 職員の健康診断受診率を 100%にする。
- (2) 職員の健康診断結果の把握と受診の有無、経過を確認する。
- (3) 健康増進に関する取り組みについて、専門的視点に立って助言する。

(4) 禁煙を推奨し、受動喫煙を防止する。

<年間活動計画>

	あさがおホール	けやきホール
4月	入居者血液検査	
5月	入居者検尿検査	入居者検尿検査
6月	職員検便検査 腰痛健診 歯科検診	入居者血液検査 職員検便検査 腰痛健診
7月		入居者血液検査
8月		
9月	入居者検尿検査 職員健診	入居者検尿検査 職員健診
10月	入居者 X-P 健診・血液検査	入居者 X-P 健診
11月	入居者・職員インフルエンザ予防接種 歯科検診	入居者・職員インフルエンザ予防接種
12月	腰痛健診	腰痛健診
1月	入居者検尿検査	入居者検尿検査
2月	健康診断・肺がん結核健診報告書提出	健康診断・肺がん結核健診報告書提出
3月	夜勤従事者健診	夜勤従事者健診
随時	職員の PCR 検査・新型コロナワクチン接種	職員の PCR 検査・新型コロナワクチン接種



栄養部門

1. 食事内容・質の向上

- (1) 委託給食会社と協力し、献立の見直しの継続と、質の向上を目指していく。
- (2) モバイル献立の変更や追加も、食材費内で可能な限り実施する。
- (3) 季節に応じた行事食を取り入れ、楽しみのある食事提供をする。(年間活動計画参照)

2. チームケアによる栄養ケアマネジメントの実施と加算の算定

- (1) 栄養ケア計画書を作成し、リスクに応じて定期的に栄養状態の評価を行う。(栄養ケアマネジメント)
- (2) ミールラウンドを行い、他部署と連携を取りながら、個々の状態に適した栄養ケアを迅速に見極め、栄養状態の維持、経口摂取の維持に努める。(栄養ケアマネジメント強化加算、経口維持加算、科学的介護推進体制加算)
- (3) デイサービスの利用者にも積極的にコミュニケーションを図り、食事の聞き取りなどを行う。(栄養アセスメント加算)

3. 感染症や災害時における食提供体制を整備

- (1) 非常時災害時に提供しやすい備蓄食や使い捨て食器であるかを検討し、必要量を確保し、整理整頓する。
- (2) 防災委員会で報告できるように、備蓄食の賞味期限などに注意して、一覧表を更新する。

4. 職員の健康増進の為の情報発信

- (1) 両施設の栄養士で情報を共有し、職員の健康増進の為の情報発信を行う。
- (2) 職員検診結果により、食生活改善などの相談に応じる。

<年間活動計画>

	あさがおホール	けやきホール
4月	春のごちそう献立	春のごちそう献立
5月	母の日献立、施設内研修(食中毒)	母の日献立、施設内研修(食中毒)
6月	父の日献立	父の日献立
7月	七夕献立	七夕献立、夏祭り
8月	納涼メニュー	納涼メニュー
9月	敬老の日献立	敬老の日献立
10月	炊き出し訓練、秋のごちそう献立	炊き出し訓練、秋のごちそう献立
11月	にぎり寿司	にぎり寿司
12月	クリスマス料理	クリスマス料理
1月	おせち料理	おせち料理
2月	節分巻きずし、鍋	節分巻きずし、鍋
3月	ひなまつり献立	ひなまつり献立
随時	1日赤飯、ちらし寿司、炊き込みご飯	1日赤飯、ちらし寿司、炊き込みご飯

あさがおホールデイサービスセンター けやきホールデイサービスセンター 事業計画

あさがおホール	地域密着型通所介護 (第1号通所事業含む)	定員18名
けやきホール	地域密着型通所介護 (予防給付基準含む)	定員18名

1. 収益を意識した運営管理

- (1) あ) 要介護者1日平均人数13名、稼働率72%以上、延べ人数338名確保に努める。
(第1号通所事業含む1日平均人数16名)
け) 全体の延べ人数300名の確保に努める。
- (2) 居宅介護支援事業所と利用者の状態についての情報交換、新規受け入れ依頼を確実にし、信頼関係を構築して利用者確保に努める。
- (3) 個々の状態に合わせて、ケアマネージャーと連携を図り、利用日増、スポット利用の提案をして利用調整を行う。

2. 感染予防対策の中での安全・安心なケアサービス・アクティビティーの充実を図る

- (1) 朝礼で感染予防の注意喚起を行い、職員の意識強化に努める。利用者、家族へも感染予防の注意喚起を行う。
- (2) 活動は密にならないように小集団、ソーシャルディスタンスを保つ。毎月、レクリエーションの評価、更新を行い、利用者へ楽しみを提供する為に、月行事の企画、実施を行う。

3. 職員の専門職としての力量向上を図る

- (1) インカム、口頭発信を充実して、職員間の連携を強化して、質の高いケアサービスを提供する。相談員を中心に業務干渉を行い事故防止、不適切ケア、不適合をなくす。
- (2) コロナ禍における外部研修(オンライン研修)にも積極的に参加して専門的知識、技術向上を目指す。ビジネスチャットを使用して内部コミュニケーション、情報共有を図る。

4. 感染、災害を予測したリスク管理、対応力を身につける

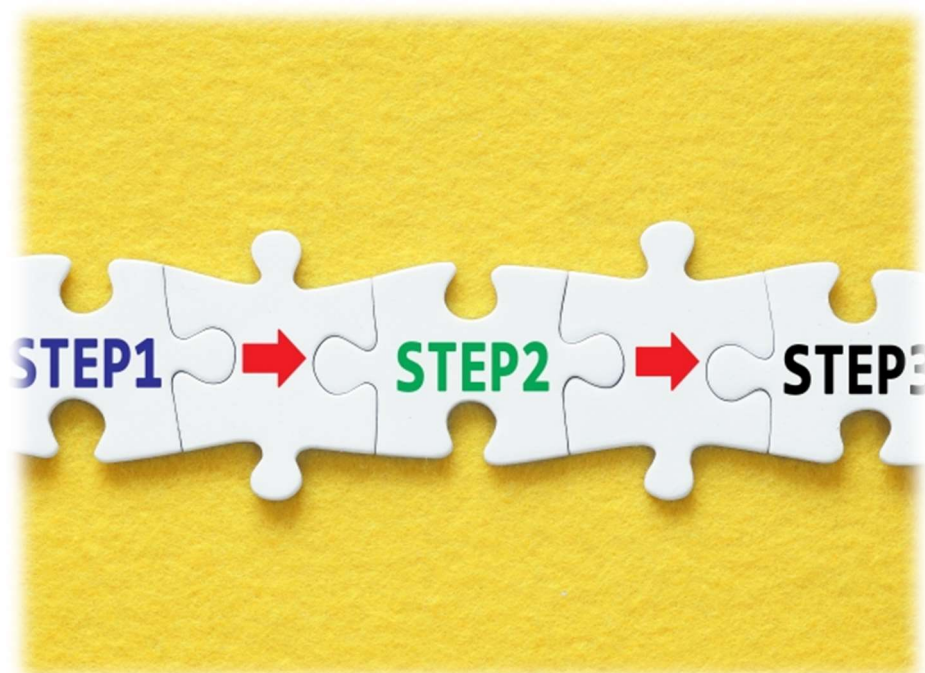
- (1) デイミーティングで感染症発生を予測したシミュレーションを定期的実践する。
- (2) 大規模災害を想定して、あさがお防災訓練に参加する。またデイ単独訓練も実施する。

5. 自立支援・重度化防止への取り組み

- (1) 科学的介護推進体制加算の更新を確実にし、評価に活かせるよう取り組む。
- (2) 個別機能指導員による個々のリハビリ(個別機能訓練加算)を継続し、自立支援を行うことで、入院や病気で利用中止を軽減する。(あさがおホール)
- (3) 栄養士と連携して個々の栄養面の計画、評価の実施を行う(栄養アセスメント加算)

年間活動計画>

	あさがおホール	けやきホール
4月	クッキングクラブ	クッキングクラブ
5月	クッキングクラブ	端午の節句工作 クッキングクラブ
6月	七夕短冊作り準備 クッキングクラブ	七夕短冊作り準備 クッキングクラブ
7月	七夕短冊作り クッキングクラブ 文化展出品作品準備	七夕短冊作り クッキングクラブ 文化展出品作品準備
8月	夏祭り（部門行事レク）クッキングクラブ 文化展出品作品準備	夏祭り クッキングクラブ 文化展出品作品準備
9月	クッキングクラブ 運営推進会議	クッキングクラブ 運営推進会議 文化展出品作品準備
10月	クッキングクラブ 文化展作品準備	クッキングクラブ 文化展出品
11月	クッキングクラブ 文化展出展	クッキングクラブ
12月	ツリー飾りつけ クリスマス会（部門行事レク） クッキングクラブ	クリスマス飾りつけ クリスマス会 クッキングクラブ
1月	クッキングクラブ	クッキングクラブ
2月	節分（部門行事レク）クッキングクラブ	節分 クッキングクラブ 雑飾り
3月	クッキングクラブ 運営推進会議	クッキングクラブ 運営推進会議
随時	音楽療法（第1・3金曜日）・園芸活動	音楽療法（第2火曜日）



ケアハウス朝来 事業計画

特定施設入居者生活介護
(介護予防含む)

定員 26名

1. 効率的なベッドコントロール・運営管理

- (1) 事業活動収入の年間予算を下回らないように運営管理を行う。
 - ①空床期間（平均 2 日以内）を短くするためにも、待機者の優先順位を整理しておく。
- (2) 各居宅介護支援事業所や病院等にケアハウスのパンフレットを配布（年 2 回）し、入居申し込み者の増加につなげる。
- (3) 入居者の状態に合わせて介護認定の区分変更申請を行う等、適切な管理及び運営に努める。平均介護度 2.5（予防含む）以上を目標とする。

2. 科学的介護の取り組みを推進し、「その人らしさ」を支えるケアを展開する。

- (1) 一人ひとりに向き合うため、様々な場面でセンター方式（アセスメントツール）を活用し見える化する。
 - ①入居者一人ひとりの思いを聴き取り、思いに沿ったケアを展開する。
 - ・定期的に入居者の思いを聴き取り、入居者のニーズをメンテナンスする。（センター方式：C-1-2）
 - ・アセスメントから見えてきたニーズを、ケアに繋げ、展開する。
 - ②日常のケア（環境を含む）の在り方を見直し、入居者本人の持っている力を伸ばす。
 - ・見直す際、出来ないことの代替をするのではなく、どうすれば実現するかを考えアセスメントする。
 - ③介護計画書に則ったケアを提供する。
 - ・個々の入居者の心身状況に合わせてケアを検討し、介護計画書のメンテナンスを行う。
- (2) 生きがいや楽しみを持った生活を支援する。
 - ①入居者の「楽しみ」や「目標・やりたいこと」などのアセスメント情報を基に、実現できるよう検討・実践する。
 - ②レクリエーションを充実させる。職員の体制など様々な提供方法を考え実施する。
 - ③家族に向けてオンライン面会の提案を継続する。
- (3) 健康維持および認知症の進行予防に取り組む。
 - ①毎日のリハビリ体操や、椅子に座ったまま行えるコグニサイズを継続する。
 - ②脱水や認知症の進行を予防するために、水分摂取プロジェクトを継続する。
 - ③看護師、管理栄養士と連携し、入居者の口腔・栄養ケアに取り組む。
- (4) 質の高いサービス提供推進に向け、LIFE のアセスメント情報を整理し、ケアプランに反映する。

3. 役割と PDCA サイクルを意識し、業務効率化に努める。

- (1) ビジネスチャットを活用し、各職員がタスク管理をして業務を遂行する。
- (2) センサーやインカムなどの ICT 活用し、入居者の様子や職員の動きを共有する。ケアの状況を共有することで業務の効率化を図る。
- (3) 入居者に対するケアのアセスメント評価や業務日課の改善を、PDCA サイクルによって継続して行う。
- (4) 併設ケアハウスとしての役割を意識し、職員の応援・協力体制を継続する。

4. ホスピタリティを実践する。

(1) 人と人、人とモノ、人と社会などの関りにおいて、一方通行のものではなく、相互に喜びを共有できる関係を築き、サービスの向上に努める。

- ①入居者を注意深く観察する「観察力」や、気持ちを汲み取り、相手の立場になり考える「想像力」を身につける。
- ②日頃の言葉遣いや行動、作法を入居者や家族、職員等に伝えるために、「表現力」を意識し、接遇マナーを向上する。

<年間活動計画>

4月	花見イベント 各クラブ 音楽療法 レクリエーション
5月	大掃除・第1回家族会 初期消火訓練 母の日 ふれあい会 各クラブ レクリエーション
6月	父の日 各クラブ 音楽療法 レクリエーション
7月	各クラブ 音楽療法 レクリエーション
8月	あさご夏祭り 夜間総合訓練 文化展作品作り ふれあい会 各クラブ レクリエーション
9月	敬老の日 文化展作品作り 各クラブ 音楽療法 レクリエーション
10月	紅葉見物外出 昼間総合訓練(停電) 文化展作品作り 各クラブ 音楽療法 レクリエーション
11月	日帰り旅行 紅葉見物外出 文化展外出 大掃除・第2回家族会 エレベーター搬出訓練 ふれあい会 各クラブ レクリエーション
12月	クリスマス望年会 各クラブ 音楽療法 レクリエーション
1月	新年会(お正月) 初詣 図上訓練 各クラブ 音楽療法 レクリエーション
2月	節分 ふれあい会 各クラブ レクリエーション
3月	各クラブ 音楽療法 レクリエーション
随時	出張回転寿司 赤ちゃん先生



ステーション RONDO 事業計画

小規模多機能型居宅介護
(介護予防含む)

登録定員 24名
通い定員 15名
宿泊定員 5名

1. 登録人数の充足率 91%以上 (22人以上)、平均介護度 1.7以上

- (1) 市内居宅介護支援事業所・民生委員・地域住民への日常的な訪問、活用事例やメリットなどの広報、情報交換を行うことで重度の利用者を含めた新規利用者増に繋げる。
- (2) 利用者の紹介のあった市内居宅介護支援事業所や民生委員へ利用後の様子を迅速にお伝えすることで信頼関係の維持・向上を図る。
- (3) 少しでも在宅生活を安心して継続できるよう、普段の関わりの中で利用者・家族の思いをしっかりと聞き寄り添い、迅速にニーズに合ったサービス調整や提言をおこなう。
- (4) 遠方の家族・知人に対し Web を活用しオンライン面会を実施することで在宅生活に意欲が持てる。
- (5) センター方式 (B-2・B-3・C-1-2) を適時活用し生活や暮らし全般をアセスメントすることで顧客満足度の向上を図る。
- (6) 心身の状態変化に応じた区分変更を実施する。
- (7) 正式利用前に、一時預かりを活用した「通所・訪問のお試し利用」の推進により抵抗感少なく新規・待機利用者増を図る。

2. 職員のスキルアップと意識の向上を図る

- (1) 年間計画を基に、参加可能な法人内行事と担当職員を事前に決め積極的に参画する。
- (2) 年間内部研修予定を基に、参加職員を計画的に決め参加を徹底する。
- (3) 行事・内部研修参加職員へ日常的にお互いが言葉掛けをおこなうことで参加意識の向上を図る。
- (4) 外部研修・会議の Web 化・ハイブリッド化に対応するため、抵抗感なく ZOOM や e ラーニングを全職員が積極的に活用できるよう職員間で操作指導など連携をする。
- (5) 参加した行事や研修について、担当職員より日々のミーティングや部門会議で伝達することで職員間の情報共有と意識向上につなげる。
- (6) 科学的介護の取組の推進のため LIFE を活用し情報を収集・活用と PDCA サイクルを促進する。

3. 感染対策を徹底し、安全に利用者地域をつなぐ役割を果たす

- (1) 感染マニュアルに沿った事業運営を徹底する。
- (2) 地域の集まりや行事への参加など利用者・事業所・地域が安全に交流する機会を作る。
- (3) 地域に出向き困りごとなどの声を聞き、ニーズに応じた相談・援助をおこなう。
- (4) 健康作り教室、地域研修、竹田小学校交流事業などの地域交流事業を開催し地域と事業所の交流を図る。
- (5) 竹田小学校運営協議会、市内小規模多機能連絡会など積極的に参加し地域の中での役割を果たす。
- (6) 民生委員・居宅・近隣住民などに向けて地域への情報発信コミュニティの役割を通じて信頼関係を構築する。

＜年間活動計画＞

4月	花見外出 音楽療法 書道クラブ 誕生日会 手作りおやつ 竹田城祭り ふれあいタウンコンサート RONDO体操 個別体操 竹田小学校散歩 健康教室 認知症サポーター研修
5月	音楽療法 書道クラブ 誕生日会 手作りおやつ RONDO体操 個別体操 竹田小学校散歩 健康教室 竹田の話し 竹田小学校金管バンド ちぎり絵 転倒予防事業 運営推進会議 殿三波 地域研修 家族会(会計報告)
6月	音楽療法 書道クラブ 手作りおやつ 誕生日会 竹田小散歩 RONDO体操 個別体操 健康 教室 ケアハウス交流会 誕生日会 防災訓練 トライやるウィーク
7月	音楽療法 書道クラブ 誕生日会 デイサービス・ケアハウス朝来・ステーション RONDO 交流会 手作りおやつ RONDO体操 個別体操 竹田小学校散歩 運営推進会議
8月	音楽療法 書道クラブ 誕生日会 手作りおやつ RONDO体操 個別体操 竹田小学校散歩 竹田の話 防災訓練
9月	ちぎり絵 音楽療法 書道クラブ 敬老の日のお祝いの食事 竹田小学校運動会見学 手作りおやつ 誕生日会 RONDO体操 個別体操 竹田小学校散歩 地域研修 運営推進会議
10月	竹田祭り 転倒予防事業 音楽療法 書道クラブ 手作りおやつ 竹田小学校散歩 竹田小学校オ ープンスクール見学 誕生日会 RONDO体操 市内小規模多機能型連絡会交流会 防災訓練 家族会交流食事会 安井地域研修 運動会 文化展出展
11月	文化展外出 音楽療法 書道クラブ 少年少女オーケストラ 手作りおやつ 紅葉外出 竹田小学校 散歩 竹田の話し RONDO体操 個別体操 運営推進会議 日帰り旅行
12月	ちぎり絵 竹田小学校散歩 照福和太鼓クラブ訪問 音楽療法 書道クラブ 手作りおやつ RONDO体操 個別体操 殿三波地域研修
1月	お正月 初詣 音楽療法 書道クラブ どんどこ 誕生日会 手作りおやつ あさがお温泉外出 避難訓練 誕生日会 RONDO体操 個別体操 竹田小学校散歩 三波ふれあい喫茶 防災訓 練 運営推進会議
2月	節分 音楽療法 書道クラブ 誕生日会 竹田の話 手作りおやつ 少年少女オーケストラ 竹田小 学校散歩 転倒予防事業 RONDO体操 個別体操 朝来市合唱祭
3月	音楽療法 書道クラブ 誕生日会 手作りおやつ RONDO体操 個別体操 竹田小学校散歩 運営推進会議 安井地域研修
随時	アンサンブルRONDO演奏 竹田小学校交流事業 利用者への口腔指導・往診 地域行事

あさがおホール居宅支援事業所 事業計画

1. 毎月の国保連の請求件数 125 件を維持

(1) 要介護 20 件、要支援・総合事業 30 件×常勤換算 2.5

2. 介護支援専門員の資質の向上

- (1) 根拠あるアセスメントを行い、自立支援に向けてケアプランを作成する。
- (2) 医療機関や他事業所、他部門と連携し、円滑なケアに繋げる。
- (3) 2カ月に 1 回、事例検討会を行う。
- (4) 計画的に研修に出席する。

3. 介護家族交流事業の推進

(1) 家族介護交流会を年 6 回実施し、在宅で介護する家族を支援する。

4. 感染予防対策、自然災害への対策

- (1) 感染予防対策を徹底し、日々の業務にあたる。
- (2) 防災に対する意識付けとして、本人、家族と一緒に朝来市災害対応個人マニュアルを作成する。

<年間活動計画>

4月	事例検討	10月	事例検討
5月	介護者の交流会	11月	介護者の交流会
6月	事例検討	12月	事例検討
7月	介護者の交流会 外出支援 負担減免・負担割合確認	1月	介護者の交流会
8月	事例検討	2月	事例検討
9月	介護者の交流会	3月	介護者の交流会
随時	ケアマネジメント支援会議		

社会福祉法人ひまわり あさがおホール・けやきホール事務部門 事業計画

法人本部

1. 経営状況等の開示

- (1) 事業をとりまく制度の動向・方向性を的確に把握し、全職員に分かりやすく周知する。
- (2) 法人・事業所の経営状況を的確に把握し、全職員に情報開示する。

2. 安定的持続的施設整備

- (1) けやきホール特養（ユニット型）は、（独）福祉医療機構の借入金の返済が終わる令和6年度まで積み立てを保留予定としていたが、本年度より運転資金を確保し、ホテルコストを積み立てる。また、全事業のホテルコストの積立率を0.84%から1.0%に引き上げ、各事業の資金収支をふまえて積立額を試算する。

経理部門

1. 制度改正への準備について

- (1) 顧問会計事務所と協議しながら、改正電子帳簿保存法、インボイス制度への改正へ完全対応できる準備を整えていく。（改正電子帳簿保存法：R4.1月施行（2年猶予）、インボイス制度：R5.10月施行）

2. 専門職としての力量向上

- (1) 外部研修は、両施設のどちらかの経理担当者は必ず参加し、研修内容をふまえ業務改善に生かす。
- (2) 日商簿記資格を取得する。

3. 適正な予算管理

- (1) 毎月の経理担当者打合せの際に、各事業の適正な予算執行管理の徹底を図る。

総務部門

1. 業務効率化

- (1) 給与支払報告書など、順次電子申請に切り替える。
- (2) 各帳票類で押印の省略を検討・実施する。

2. 人材確保

- (1) 外国人雇用に「特定技能者」をあさがおホール2名、けやきホール2名採用予定とする。
- (2) 「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」に登録し認定を目指す。

<年間活動計画>

	活動計画
4月	辞令交付式、第三者委員会（令和3年度下半期）、施設内研修（接遇）、
5月	監事監査・理事会（決算）
6月	定時評議員会（決算）・資産変更登記・現況報告書提出
7月	夏期賞与支給・有期雇用者契約更新・昇給
8月	理事会
9月	上半期決算・事業報告
10月	理事会、最低賃金改正
11月	第三者委員会（令和4年上半期）、施設内研修（接遇）
12月	監事監査・理事会（上半期）、冬期賞与支給
1月	給与所得の源泉徴収票等の法定調書提出
2月	理事会・評議員会（補正予算他）
3月	理事会・評議員会（予算・事業計画）・期末賞与、報奨金支給・決算



